

目標達成計画

作成日: 2022年 1月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	近年各地で発生する自然災害を自分事として捉え、あらゆる自然災害を想定した訓練実施に期待する。夜間想定を増やし、夜勤専門職員の訓練参加と、避難時に有効な非常時持ち出し整備が急がれる。更に12月予定の消防署立会い訓練の成果に期待したい。	施設で自然災害対策委員会を発足し、委員を中心に自然災害を想定し非常時持ち出し品や避難の優先順位などさまざまな事前準備に取り掛かる。あわせてBCPの継続的な作成や訓練等が習慣化できる。	自然災害や火災、不審者侵入など様々な訓練に消防署や警察署へ参加を依頼し専門的な助言を頂く。自然災害対策委員によりBCPの作成を行い、様々な自然災害を想定しての訓練(机上含)を繰り返し実施する。	12ヶ月
2	23	本人の思いを聞き取り、全職員で情報共有する事で、より本人の思いに沿った支援に繋がる事が期待できる。そのためには全員が確認できる仕組みが必要と思われる。検討、取り組みが望まれる。	個々人の思いや要望を職員が積極的に聞き取り、その思いに対し職員間で共有し意思に沿ったケアを実施する。入居後も利用者様の間接像や生活歴を増やしていくために細かな観察を行い思いに気づけるスキルを持つ。	利用者様の思いや意思が聞かれた際は日々の記録へ記入する。また、社内の書式を用い利用者様やご家族の意思を確認し、その内容をケアプランへ反映する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月